荒川区立尾久八幡中学校

Oguhachiman Junior High School

教育目標	夢や目標をもって「主体的に活動する」ことができる、知・徳・体の調和のとれた、自ら学び、思いやりのある、たくましい生徒を育成する
校 訓	文武両道、礼節・品格
目指す生徒像	知　自ら学び、自ら考え、正しく判断し、実行する生徒
	徳　自他を尊重し、協力し合える、心豊かな生徒
	体　心身ともに健康で、ねばり強くやり抜く生徒

所　在　地　〒116-0011 東京都荒川区西尾久3－14－1
電話番号　03－3893－7776
ＦＡＸ番号　03－3810－9726
ホームページ　http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/OGUHACHIMAN-J/
校　　長　稲葉　裕之

学校の沿革

本校は、昭和38年、現在の東京大学である旧制第一高等学校、そのボート部施設の跡地に、荒川区で 14 番目の中学校として創設されました。以来、地域の皆さまに支えられながら、尾久地区の教育の一翼を担う伝統校として歩んできました。

創立50周年を迎えた平成 25 年には、都スーパー堤防及び区宮前公園との一体的整備により、隅田川沿いの自然を活かした環境融合型校舎が完成、充実した学習環境が本校の新たな特色に加わりました。

教職員数

校長	1	特別支援学級	4
副校長	1	養護教諭	1
国語	2	外国人英語指導員	1
社会	2	時間講師	7
数学	5	学校栄養士	1
理科	3	事務主事	3
音楽	1	用務主事	3
美術	1	スクールカウンセラー	2
保健体育	2	学校司書	1
技術	1	特別支援教室専門員	1
家庭	1	特別支援教育支援員	1
英語	4	特別支援教育介助員	3
		スクールサポートスタッフ	1

主な年間行事予定

4月　1学期始業式、入学式
5月　セーフティ教室、区オーケストラ鑑賞教室（2年）
　運動会
6月　身体計測、下田移動教室（2年）、期末考査
　清里移動教室（6組）（1年）
7月　三者面談、1学期終業式
9月　2学期始業式、防災訓練、修学旅行（3年）
　勤労留学（2年）、生徒会役員選挙、区連合体育大会
10月　中間考査、学芸発表会、区連合英語発表会
11月　期末考査、道徳授業地区公開講座
　職場実習（6組）、遠足（6組）
12月　三者面談、2学期終業式
1月　3学期始業式、区連合展示会、遠足（1年）
　卒業生を送る会（6組）、校内書初め展
2月　都バスケットボール大会（6組）、お別れ遠足（6組）
　学年末考査
3月　伝統文化鑑賞教室（1年）
　遠足（3年）、薬物乱用防止教室、卒業式、修了式

学校経営方針

令和6年度の学校経営方針です

Ⅰ　尾久八幡中の教育

「生徒を幸せにする学校（今を、そして将来にわたって）

―　社会の一員としての力を持った、人間性豊かな人に　―

Ⅱ　本年度の重点目標

「確かな学力の定着・向上を図るとともに、豊かな人間性を育成する。」

1　学び方指導と家庭学習により、自ら学ぶ力を身につけさせることで、学力の定着・向上を図る。

2　ICT機器の活用等により、教師がその指導力を改善することで、学習指導の充実を図る。

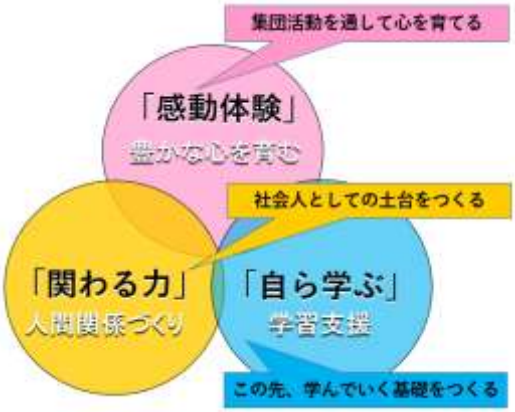
3　授業活用や読書啓発活動により、学校図書館活用を推進することで、学習意欲の向上を図る。

4　外部人材等の活用により、指導内容を高めることで、教育活動の充実を図る。

5　文化的活動や奉仕活動、職業体験等の充実により、社会性を育成することで、豊かな人間性を育成する。

Ⅲ　指導の重点

上記の重点目標について、学校パワーアップ事業を有効に活用しながら、組織的な実践により具現化を図る。



「感動体験」（豊かな心を育む）

【集団活動を通して心を育てる】

【1】一人一人に活躍・活動の場を

① 文化的活動の充実　→知的好奇心と感動を

②人間力育成の充実　→自己肯定感と他者理解を

③ 個性を伸ばす教育の充実　→達成感と自己実現を

【2】地域・社会を知り、共に生きる

① 奉仕の精神の醸成（防災部、JRC、地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ）

②地域と関わる活動の充実（演奏活動）

→自己有用感、地域の一員としての自覚を

「関わる力」（人間関係づくり）

【社会人としての土台をつくる】

【1】自分の『軸』、土台づくり(生活指導)

① 人間の土台づくり「時間、あいさつ、身だしなみ」

② 規範意識「ならぬことは、ならぬ」

③ 自尊感情「認め・励まし・褒め、そして支える」

【2】社会性を育む(進路指導)

① 社会性育成の充実　道徳公開講座、Q-U　等

② キャリア教育の推進

勤労留学、外部人材による特別講座　等

「自ら学ぶ」（学習支援）

【この先、学んでいく基礎をつくる】

【1】学び方指導と家庭学習の定着

①学習の仕方指導の充実

②ﾄﾞﾘﾙｺﾝﾃﾝﾂ等の活用

他　「あらかわ寺子屋」・各種検定取得の奨励　等

【2】指導力向上と指導方法の改善

①ＩＣＴによる指導力向上（ﾀﾌﾞﾚｯﾄPCの活用等）

②図書館活用による授業改善

他　サイエンス講座等による理科教育　等

特色ある教育活動

特色1 「教科教室型校舎」等を活かした学習活動

尾久八幡中学校の校舎は「教科教室型」の設計となっており、各教科の特性に応じた学習しやすい工夫がなされています。さらに、各階には「メディアコーナー」と呼ばれる、展示発表・集会活動等に使えるフリースペースがあります。こうした学習環境を活かしながら、確かな学力だけでなく、生涯にわたって通用する「学びに向かう力」＝自ら学ぶ姿勢を身につけることをめざします。

特色2 校訓「文武両道」の伝統校

八幡中といえば「文武両道」というほど、本校では伝統としてその両立を信条としています。毎年多くの運動系部活動が都大会に進出、関東・全国の大会への出場も果たしています。その一方で、吹奏楽部や演劇部など文化系部活動も活発で、コンクール等で優秀な成績を収めています。さらに最近では、調べる学習コンクール等で入賞するなど、文化的な活動でも成果を上げています。どこかにその生徒のよさを活かせるチャンスがある、そんな学校をめざしています。

特色3 校訓「礼節・品格」に基づいた学校生活

もう一つの校訓は「礼節・品格」です。これは、人として目指すべき心持や望ましい行動を、きまりや礼儀作法として事細かに示されなくても、この一言を表すことで自ら考え行動することをめざした、誇れる校訓です。そうした先人の思いと知恵に思いをはせ、この60周年の節目の年に改めて見直しています。制服を一新したのもその一環です。さわやかな挨拶、節度ある身だしなみ、時間を大切にする姿勢、そうした「礼節・品格」に基づいた学校生活を通じて、社会の一員としての力を育てます。

特色4 JRC＜青少年赤十字＞活動の再開

青少年赤十字＝JRC活動は、開校間もない昭和40年に全校加盟登録、半世紀以上のわたり継続的に活動してきた歴史があります。そのなかで、JRCの態度目標である「気づき・考え・実行する」の姿勢は脈々と受け継がれてきました。ここ数年は、感染症対策のため活動を休止してきましたが、様々な制約も緩和されたことから、募金や地域清掃等の奉仕活動、応急処置講座や救命法練習等の防災学習を再開していきます。こうした取り組みを通して、社会の役に立つことの喜びを感じてほしいと思っています。

標準服

60周年を機に標準服を一新しました

・華美にならず内面を磨き、礼節・品性を重んじる本校の校訓を体現したデザインです。
・色はスクールカラー「グレー」を基調としました。
・男女でスカート・スラックス、ネクタイ・リボンを選択できるようにしました。
・衛生面にも配慮、洗濯機で気軽に洗える素材を採用、夏服にはポロシャツを追加するなど、快適に学校生活を送れるようなものにしました。
・カバンはリュック型に変更、タブレットPC対応や、生徒の身体負担などの配慮がされています。

部活動

部活動について

部活動は、異年齢の仲間と協力し合い、同じ目標達成を目指す中で仲間意識を育て、自分の個性や特性を伸ばすことができます。また、規範意識やマナー、社会性を高めていくことにもつながります。自分の人生の中で最も心身の発達が著しい時期だからこそ、部活動という“仲間とのふれあい”の中で自分を磨き、豊かな学校生活を送ることを目指しています。

部活動一覧

運動系部活動

野球、サッカー、バドミントン、ソフトテニス、卓球、
男女バレーボール、男女バスケットボール

文化系部活動

吹奏楽、美術、演劇、パソコン、ボランティア・防災、模型

昨年度の部活動の主な成績

吹奏楽部	東京都中学校吹奏楽コンクール東日本部門金賞
卓球部	第 30 回関東中学校選抜卓球大会出場
演劇部	区中学校連合演劇発表会　優秀賞　都大会出場
男子ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ部	区バスケットボール新人大会　優勝　都大会出場
女子ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ部	区中学校総合体育大会　準優勝
ソフトテニス部	都中学校総合体育大会　女子団体戦　出場
バドミントン部	区民体育大会 女子シングルス　優勝
サッカー部	区民体育大会　準優勝

主な進路状況

国立学校
筑波大附属駒場

県立学校
茨城県立牛久栄進

都立学校		
日比谷	井草	工芸
竹早	足立新田	荒川工科
向丘	足立西	芝商業
上野	江北	忍岡
城東	葛飾野	科学技術
青山	江戸川	王子総合
鷺宮	小岩	小台橋
豊島	小松川	一橋
文京	足立東	王子特別支援
竹台	飛鳥	志村学園
板橋	園芸	水元小合学園
		産業技術高専

私立学校		
安部学院	岡山学芸館	東京成徳大学
郁文館	興国	羽田国際
上野学園	埼玉栄	文京学院大学女子
関東国際	おおぞら高等学院	豊南
錦城	科学技術学園	武蔵野
錦城学園	北豊島	早稲田実業
京華商業	S高等学校	北照
京華女子	正則	花咲徳栄
共栄学園	駿台学園	千葉経済大学附属
駒込	正則学園	千葉英和
サレジアン国際学園	中央大学附属	大智学園
品川学藝	帝京	中央国際
淑徳巣鴨	東海大学付属高輪台	東京文理学院
慶應義塾	東京家政大学附属女子	

校歌・校章

校歌

作詞　勝承夫
作曲　平井康三郎

一、光 光 みちわたる
さやかな朝の よろこびを
うつす荒川 われらの友よ
たゆみなく 進みゆく
若人の 寄るところ
尾久八幡は 幸あるまなびや

二、つばさ つばさ 寄せ合って
平和の鳩もなごやかに
巣立つここの窓 こころの故郷
友情の 花ひらき
純情の 夢みのる
自立の英気 みなぎるよろこび

三、力 力 はつらつと
明治を語る 川風も
意気に燃えたつ われらの庭よ
この腕に この胸に
栄光を うけついで
尾久八幡の まなびや かがやく

校章

鏡の上に二羽の鳩が止まっています。
鳩は、やさしく、礼儀正しく、
平和と勇気と、仲良しを表し、
鏡は、円満にして、明朗正直にして、
自分を見るだいじなものです。

交通案内・周辺地図

都　電『小台』または『宮ノ前』下車徒歩５分

都バス『西尾久三丁目』下車徒歩３分

JR 田端駅より[東 43]荒川土手行きに乗車

日暮里･舎人ライナー『熊野前』下車徒歩12 分